

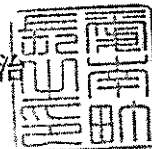


平成19年4月26日

愛建発第 78号

国土交通省道路局長様

愛南町長 谷口長治



中期的な計画にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付国道企第114号により依頼のありました、このことについて別紙のとおり意見書を提出いたします。

【今後の道路政策や道路の整備について】

愛南町は、愛媛県の西南端に位置し、高知県宿毛市に隣接している県境の町であります。

県都松山市より150km所要時間2時間半を要し、JR予讃線の終着駅宇和島より40km以上離れており「陸の孤島」状態ではありますが、温暖な気候風土に恵まれ豊かな自然に囲まれ、郷土愛とお接待の心が息づくまちであります。

本町は、第1次産業が基幹産業であり、農産物・水産物の生命は鮮度であって消費地への輸送時間の短縮は販路の拡大や取扱量の増大を招き、産業の活性化や若者の定住促進が見込まれる。特に四国一のカツオ水揚げ港（深浦港）を有しており「日帰りカツオ」は、30分単位の鮮度保持が販路の拡大を左右している。

次に医療面に於いては、県立南宇和病院が町内救急患者の90%以上が搬送される地域の中心医療機関であるが、現在土・日曜日には麻酔科医が不在で、第3次救急医療施設である市立宇和島病院へ搬送されている状況であり（18年度年間搬送件数52件）片道1時間近くかかる距離であるため常に生死がかかっている。

又本町は台風銀座と言われる豊後水道の入り口に位置しており、風水害に見舞われる頻度が非常に高いうえ、近い将来高い確率で予想されている南海地震が発生した場合県下では最大の被害が予想されている。

この際、津波の発生も想定されており最大津波高6mの予測が示されている。この場合、町内の国道4箇所が寸断される心配がある。

本町に於ける国道56号は唯一町外へ通じる一次緊急輸送路であり、主要生活道であると共に「命の道」であります。

これらの課題解消の為には、本町を含めた四国西南地域の道路整備であり四国8の字ルートネットワークの形成であると考えております。

景気の低迷が続いている当地域にとりまして「高規格道路」は、産業の振興・命の道の確保・就業可能エリアの拡大及び観光客やUターン人口の増加を招き地域の活性化を図ることが出来る道であり、「高規格道路」の一日も早い整備は愛南町民挙げての悲願であります。

平成19年 4月

愛媛県 愛南町長 谷 口 長 油

